

由井寅子会長の発表

ホメオパシーは「同じものが同じものを治す」という原則に基づき、患者の体質や症状を詳細に観察し、その原因となる物質を10の60乗に希釈したレメディーを処方する。ホメオパシーは、生きた細胞や感情を記録したレメディーを、患者の体質や症状に合わせて処方する。レメディーは、患者の体質や症状に合わせて処方する。レメディーは、患者の体質や症状に合わせて処方する。

私は英国在住時に慢性性大腸炎を患い、ホメオパシーで治療した。その経験が、療法の普及を生産の使命とさせた。英国で学び、英国で療法のキャリア

アを積み、日本には16年前に帰国して活動するようになった。当初、日本ではまだホメオパシーが一般的ではなかった。私が日本に先導したという状況の中、ホメオパシーの重要性を伝えるために、私は「ホメオパシーの重要性」をテーマに講演を行った。この講演は、多くのホメオパシー愛好者や医療関係者に受け入れられ、ホメオパシーの認知度を高めることに貢献した。

現代の状況に適した手法を、現代医学、他の療法と連携。現代医学は、科学的なアプローチに基づいて治療を行う。一方、ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。また、ホメオパシーは、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。

現代医学は、科学的なアプローチに基づいて治療を行う。一方、ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。また、ホメオパシーは、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。

現代医学は、科学的なアプローチに基づいて治療を行う。一方、ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。また、ホメオパシーは、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。

現代医学は、科学的なアプローチに基づいて治療を行う。一方、ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。また、ホメオパシーは、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。

現代医学は、科学的なアプローチに基づいて治療を行う。一方、ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。また、ホメオパシーは、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。

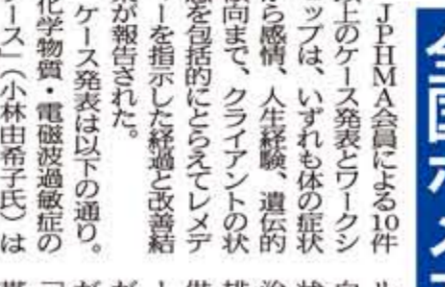


2011年ホメオパシー世界大会に向けて

ホメオパシー統合医療へ



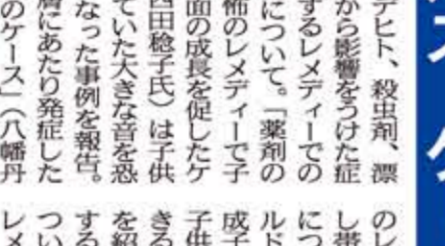
西田穂子氏



小林由希子氏



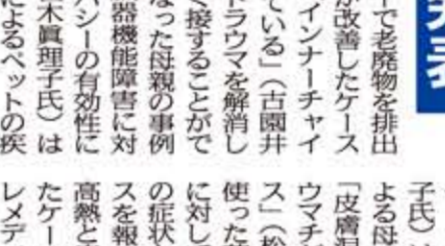
古園井成子氏



八幡丹美氏



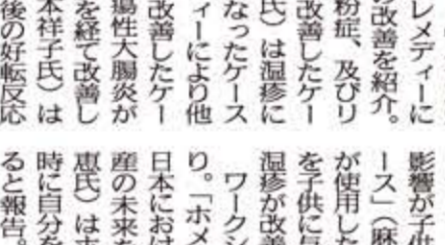
伊藤知子氏



笹木眞理子氏



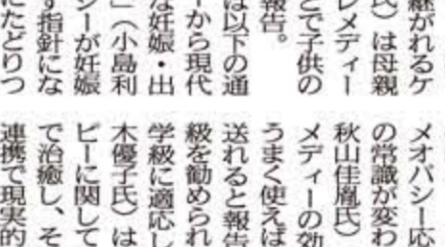
岡本祥子氏



松尾敬子氏



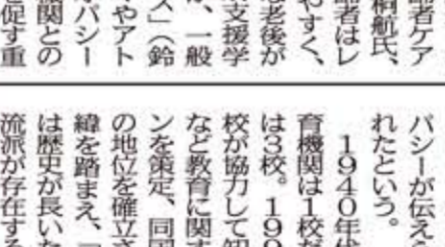
小島利恵氏



麻野輝恵氏



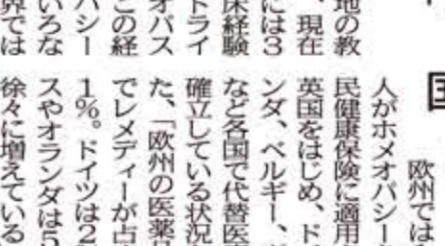
片桐航氏



宮崎日出子氏



鈴木優子氏



秋山佳胤氏

全国ホメオパス ケース発表

JPHMA会員による10件以上のケース発表とワークショップは、いずれも体の症状から感情、人生経験、遺伝的傾向まで、クライアントの状態を包括的にとらえてレメディーを指示した経過と改善結果が報告された。

ケース発表は以下の通り。「化学物質・電磁波過敏症のケース」(小林由希子氏)は「精製された食品、電磁波、ホ

ルアルデヒド、殺虫剤、漂白剤などからなる環境汚染物質に曝露した結果、アレルギー反応が顕著化した。レメディーでアレルギー反応が改善された。また、クライアントの感情面でも改善が見られた。

「皮膚病、花粉症、及びアレルギー」(古園井成子氏)は「アレルギー反応が顕著化した。レメディーでアレルギー反応が改善された。また、クライアントの感情面でも改善が見られた。

「アレルギー反応が顕著化した。レメディーでアレルギー反応が改善された。また、クライアントの感情面でも改善が見られた。」

「アレルギー反応が顕著化した。レメディーでアレルギー反応が改善された。また、クライアントの感情面でも改善が見られた。」

「アレルギー反応が顕著化した。レメディーでアレルギー反応が改善された。また、クライアントの感情面でも改善が見られた。」

パネルディスカッション

国内外来賓、由井会長、NPO法人「目」の代表、国際評議会会長、書記官、ホメオパシーの専門家らが参加し、ホメオパシーの現状と今後の展望について話し合った。

由井会長は「ホメオパシーは、現代医学と連携することで、より効果的な治療が可能になる。また、ホメオパシーは、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。」

国際評議会会長は「ホメオパシーは、世界で最も人気のある代替医療の一つである。今後も、ホメオパシーの認知度を高めることが重要である。」

書記官は「ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。」

「批判の後に確立される」国際評議会の会長、書記官も講演。国際評議会会長は「ホメオパシーは、世界で最も人気のある代替医療の一つである。今後も、ホメオパシーの認知度を高めることが重要である。」

書記官は「ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。」

「批判の後に確立される」国際評議会の会長、書記官も講演。国際評議会会長は「ホメオパシーは、世界で最も人気のある代替医療の一つである。今後も、ホメオパシーの認知度を高めることが重要である。」

日本ホメオパシー医学協会 第11回学術大会を開催

2011年のホメオパシー国際カンファレンスには、海外からも多くのホメオパスが来日する。ホメオパシーは200年の歴史がある代替医療で、日本の歴史は浅いが、今回の学術大会で発表された多くの改善事例、日本のホメオパスの技術の深さは、世界のホメオパシー事情に造詣が深いIICの来賓から賞賛が送られるほどの水準の高さを示している。医療費削減が国家的急務とされ統合医療に向けた動きが高まる中で、利用者が治療事例も増え続けている事実も、この大会で報告されている。

「批判の後に確立される」国際評議会の会長、書記官も講演。国際評議会会長は「ホメオパシーは、世界で最も人気のある代替医療の一つである。今後も、ホメオパシーの認知度を高めることが重要である。」

書記官は「ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。」

「批判の後に確立される」国際評議会の会長、書記官も講演。国際評議会会長は「ホメオパシーは、世界で最も人気のある代替医療の一つである。今後も、ホメオパシーの認知度を高めることが重要である。」

書記官は「ホメオパシーは、患者の体質や症状に合わせて治療を行う。両者を連携させることで、より効果的な治療が可能になる。」

記念講演II

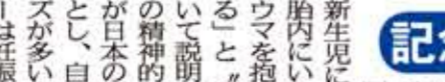
「胎児」(胎児)の誕生は、母体の体質や感情によって決まる。レメディーで胎児の健康を促進することができる。また、胎児の健康は、母体の健康と密接に関連している。

「胎児」(胎児)の誕生は、母体の体質や感情によって決まる。レメディーで胎児の健康を促進することができる。また、胎児の健康は、母体の健康と密接に関連している。

代替医療の併用について

「代替医療」(代替医療)は、現代医学と併用することで、より効果的な治療が可能になる。また、代替医療は、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。

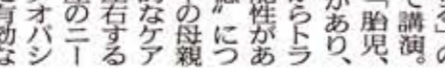
「代替医療」(代替医療)は、現代医学と併用することで、より効果的な治療が可能になる。また、代替医療は、副作用が少ないという特徴があり、現代医学と併用することで、患者の負担を軽減することができる。



野口哲英氏



池川明氏



酒向猛氏



大杉幸毅氏